第１回登米圏域宿泊事業者部会
【日時】令和８年６月３日（水）午前１０時から正午まで
【場所】登米合同庁舎　２０３会議室

【委員からの主な意見】

１．令和８年度宿泊税充当施策について

(委員 A)
○登米圏域において観光 PR と二次交通の強化、どちらを優先すべきか悩ましいところだが、キックボードやレンタサイクルの整備など二次交通を優先すべきと思う。
○当施設では、３～４月客数が落ち込んでいたが、６月以降長期宿泊の予約が増えてきた。登米圏域はビジネス客が多い地域なので、自由時間に楽しめるもの（ナイトコンテンツ等）を整備してほしい。当施設としても、イベントや食事など PR を宿泊客に対してしていきたいと思う。
○部会以外の宿泊事業者の意見も取り入れながら施策検討を進められると良い。

(委員 B)
○登米市で東北風土マラソンが４月にあり、来場者数は少なくとも 3 万 8 千人と大変盛況であった。こういった登米市内のイベントと連携して宿泊に繋げていけると良い。
○まずは PR を進めて認知度を上げるべき。登米市は有名テーマパークや富士山のようなものがある地域ではないので、ニッチな部分を PR して長期滞在やリピーターに繋げられると良い。

(委員 C)
○登米圏域の誘客テーマを決めるべき。食、地元の人との交流など、「この部分では絶対に他に負けない」というものを届けられるといい。
○資料 p3 の「③圏域観光魅力向上推進事業」や「④農産漁村体験おもてなし支援事業」のような施策に期待をしている。また、p7 のような PR 施策もとても大切だと思う。
○登米市は、お客さんから「民泊がすばらしい、品質が高い」と評価いただくことが多いので、ホテルに加えて民泊の魅力発信にも力を入れていけると良い。

(委員 D)
○p6 の案内板整備はぜひ各所で整備を進めてほしい。やはりインバウンド向けに看板は必要。
○これらの施策へ対する意見ではないが、今後事業を進めていく上では、行政の縦割りを越えて同じ方向を向いて一体的にやるべき。

(委員 E)
○ビジネス客が多いので、そういった方にもプラスになる施策があると良い。地元商店街のクーポン配布や、登米市内のイベントにあわせて夜の出店をやるなど。

○二次交通の面では、バスの増便などは現実的に難しいと思うので、レンタカーの補助事業は良い施策だと思う。
○登米市内に限らず、小さい駅などは水洗トイレ（洋式トイレ）でないところも多い。そういったところの整備に充てるのも良いのではないか。

（委員 F）
○企画する中では、内部の人間だけでは気づけない部分があると思うので、外部（インフルエンサーや旅行事業者等）の意見も取り入れていくべき。旅行事業者からは、「台湾の人には早朝コンテンツはウケがよくないと思う」といった意見をきいたこともある。
○PR や二次交通についてどちらが先かという議論があったが、どちらも並行して進めていくべき。
○お客さんの話を聞いていると、体験型観光の人気が高い。登米市の強味を活かしてそういった体験コンテンツを整備していけると良い。

２．登米圏域における観光振興施策について

（委員 A）
○ビジネス客が多いので、登米市に何があるのかわからない長期宿泊客も多いのではないかと思う。当施設としても食体験への案内をもっとしていきたい。素朴ではあるが、お米の味も美味しいので他県の人にも楽しんでもらえるのでは。
○マガンのコンテンツ磨き上げについては、登米の朝は冷え込むため、スキー場のようにダウン貸し出しなどの細かなサービスがあると良いのではないか。
○PR については、旅行会社への売り込みは大変だとは思うが、良い取組みだと思う。

（委員 B）
○ニッチな登米押しの人を増やしたい。マガンをはじめ、パワースポットや仙台牛、米なども PR していけると良い。農家と連携した宿泊プランの造成なども良いのでは。PR の際は登米市一帯で取り組んでいけると良い。

（委員 C）
○宿泊者数を増やすには「夜」がキーワードになると思う。新田には夜営業している飲食店がないので、地元の食（名物）を楽しんでもらえるよう、佐沼と連携することが必要。また、より充実した内容にするために翌日のプランも提案できるようになると良い。
○ゴールデンルートではできないものをやっていけると良い。1 学年単位の教育旅行（100 人以上）は登米市内の受入キャパでは厳しいので、希望制の中規模（20～30 人）教育旅行（大学含む）をターゲットにしていけると良いのでは。
○インバウンド向けに考えると、登米だけでは厳しいと思う。県北エリアでマガンの種類を全て観察できる、といった内容も良いと思う。

（委員 D）
○ターゲットは取り上げるものによって様々だろう。体験型観光が人気なので、マガンや農業、茶道、能などそれぞれターゲットを分けて PR してはどうか。
○受入キャパの問題もあるため、周辺地域と連携してやっていけると良い。

（委員 E）
○長く滞在してもらうには、登米町の街並みや能舞台の夜のライトアップなどはどうか。また、２泊くらいしてもらうには登米圏域のみでは難しいと思うので、県北の酒蔵を巡るツアーとか周辺地域も含めた企画が必要となるのでは。
○登米市内で使用できるクーポンがあると地域にお金を落としてもらえるのでいいのでは。

（委員 F）
○体験型観光の需要があるということなので、マガンコンテンツでも朝食提供だけでなく体験にする等やっていけると良いのではないか。
○PR については、昔の日本を体験できるなど振り切ってやった方がインパクトもあり、興味を持ってもらいやすいと思う。ニッチなところを攻めていき、そういったところから登米市を知ってもらえると良い。

３．その他

（委員 D）
○前回の DC は大変良かった。明治村でも撮影を行った。ぜひ今回も明治村など登米圏域を取り上げてほしい。